

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	リバー能力センター			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	95名	(回答者数)	46名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心して過ごせる施設の環境(清潔感とスペース)の確保ができています。	日々の安全チェックを欠かさず行い、清掃や整理整頓においてもチェック表を活用しながら行っている。	利用者がさらに楽しく通所が出来るよう、支援教材の拡充を行う。
2	支援を利用するにあたり、丁寧なアセスメントを行い希望に沿った支援を提供出来ている。	定期的に面談の場を設けて、支援内容を流動的に変更を行っている。	SSTの支援を更に充実させることで、利用者のソーシャルスキルの向上を目指す。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルの所在や訓練の有無についての周知の不十分	利用開始時の説明における周知	利用開始時に事業所で行っている取り組みについての説明 面談時に新しい取り組みについての周知
2			
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 リバー能力センター

公表日 令和7年3月

利用児童数

95名

回収数

46枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	43	1		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35	3		8		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	2		16		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43			3		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43	2		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42	1		3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	45			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40	3		3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	45	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	4		5		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	6	15	18		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44		1	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	6	8	20		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	36	5		5		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	7	1	4		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	2		4		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	14	23		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	4	1	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	4		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	8	3	18		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3	1	15		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	5	4	23		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	3	1	18		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	3	1	14		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	46					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	38	4	1	3		
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	2				

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		リバー能力センター		公表日			令和 7 年 3 月	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		個別支援のため、職員を多く配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		来所時・退所時には付き添いをして転倒等の事故を未然に防ぐ配慮をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、清掃及び整理を行い安全確認のチェックを行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日、ミーティングを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや定例会議において議題に取り上げて業務改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議の場での意見交換をして業務改善に努めている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		重要事項説明書において、第三者評価を行わない旨を記載している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月 1 回の内部研修及び定期的に外部研修・オンライン研修にも参加している。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個別支援計画書作成前にはモニタリング・アセスメントを行いニーズの再確認や課題の修正等を行っている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス提供にかかわる職員にて会議を行い本人の現在の状況を考慮して必要な支援についての検討を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援の記録をリトムとは別に記録をしているつても確認できる状態にしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のミーティングにおいてチーム全体で活動プログラムの確認を行っている。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		17同様、意見を出し合い常に洗練した活動プログラムの構築に努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		定期的に集団で活動するプログラムの案内を行い、集団活動におけるルール、意識の向上を目指している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日のミーティングで当日の流れを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日のミーティングで確認をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		リトムとは別に記録を取り、当日の状況が把握できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月以内に1回個別支援計画書を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の支援の中でも自分自身でどう過ごすかを確認をしながら意思決定の力の獲得を目指している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者や児童発達支援管理責任者・支援担当者が必ず参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児童の状況に応じて在籍している学校や相談支援事業所との連絡調整を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		連絡帳や電話連絡で密に連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		本人の特性等について情報を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		集団活動プログラムの際に外部の方と交流する機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		淀川区こども支援部会に常勤職員が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		事業所内相談・連絡帳等で意見交換をして課題を設定している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		対面で説明を行い、内容について相違や質問がないかの確認を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング・アセスメントを行い必要な支援について確認をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内相談や送迎時に時間を作り対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者から保護者会を希望しないとの要望が多いため、現状は設けていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情・相談マニュアルを策定しており、苦情があった際には記録を取り解決策を迅速に提供している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行事予定の案内を作成して、連絡帳やこどもに発信をして周知をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫に保管をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		筆談や二択で答えられる質問を行う等意思表示がしやすい対応を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		いつでも閲覧できるように事業所内の待合に保管をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画を策定しており、年に1回BCPの災害訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートを活用して確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		軽食を取る時間を設けていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事業所内の待合に保管をしている事を全利用者に対して周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		いつでも閲覧できるように事業所内に配置しており、都度対策の検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年間の研修スケジュールに研修を組み込み、虐待防止委員会を設置して会議及び年間の研修とは別に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画書に身体拘束について記載をしており、個別支援計画書の説明の際に了承を得ている。	